



楽しまなびや

未来を創る自律した子どもの育成



本校周辺は、秋を堪能するにはぴったりの環境なのですが、今年は秋があつという間に過ぎてしまいました。来校される方の中には、「紅葉がすてきですね。」と言ってくださる方も複数いらっしゃいます。四季を存分に味わうことのできるこの環境で過ごす子どもたちは、本当に幸せだなあと改めて感じています。秋には様々な行事があり、子どもたちの成長する様子を見ることができました。教職員一同、常によりよいものをめざして、今後も工夫と改善をしていきます。

運動会～楽しい・絆・協力・助け合い～



どの学年でも、○○実行委員（○○はダンス、表現、学年種目、わんぱく種目等）が結成され、その委員を中心にしながら、練習を進めていきます。発達段階に応じて子どもの力でできることは異なりますので、学年が上がるにつれ自分たちでできることが増えていきます。そしてそのような上学年の姿が、下学年の子どもたちにとってはあこがれの的となり、次の運動会への意欲につながっていきます。

今年は、子どもの発案で、見に来てくださった方からメッセージをいただきました。また、昨年に引き続き、見学に来てくださった方の投票で赤組（元気いっぱい賞）と白組（助け合ったで賞）の賞を決めました。勝負事ですのでそれぞれの種目には勝ちや負けは当然ありますが、最後にお互い力を出したことに対して、称え合える人になってほしいと思います。

以前のように1日日程の運動会ではありませんが、子どもたちが自分たちで考え、仲間と協力し合ってつくっていくという運動会が根付いてきています。子どもたちの主体性を發揮する場でもありますが、私たち教職員が目的を明確にし、子どもたちが力を出せる環境を整えることの重要性を再認識しています。



土曜参観&芸術鑑賞会



11月22日に実施された土曜参観に、たくさんの方にお越しいただきありがとうございました。年度初めから比べて、大きく成長した子どもたちの姿を見ていただけたかと思います。芸術鑑賞会は、サンドアートパフォーマーのKISATOさんをお招きし、サンドアートを鑑賞しました。子どもたちが普段できないことを経験することができました。なお、鑑賞会は、PTAのご協力で実現しています。ありがとうございました。

また、昨年から地域との協働により実施しているおおくぼ村祭りは、子どもたちも大変楽しみにしていました。おかげさまで、地域とのつながりを子どもたちが実感できる時間となりました。

裏面もご覧ください

わんぱくイベント～わんぱくらんど～

今年も始めて「遠足ありき」ではなく、わんぱくイベントとして何がしたいかを考えることから始まっています。昨年同様、子どもたちからは、「みんなで遊びたい。」という願いのほかに、「お弁当を持ってきてどこかに行きたい。」という願いも昨年同様出てきました。そして、班長会議等を経て、わんぱくらんどに出かけることになりました。

当日は、よい天候に恵まれ、最高のお出かけ日和となりました。移動に45分かかるのですが、最近の子どもたちはたくさん歩く経験が少ないので、特に低学年の移動に心配もありましたが、高学年が小さい子のペースに合わせて歩いたり、帰りには荷物を持ってあげたりする姿がたくさん見



られ、無事歩き切りました。わんぱくらんどでは、班で決めた場所で思いっきり遊び、お弁当もおやつももりもり食べ、充実の一日を過ごしました。



わんぱくグループ活動は、異年齢集団の活動によって心を育てるこことを目的として位置づけています。子どもに任せっぱなしにするのではなく、教職員も目的をしっかり意識して日々指導することの大切さを改めて感じた一日でもありました。

第2回学校運営協議会

11月13日に第2回学校運営協議会が開催されました。前半は、学校のグランドデザインに基づいて、今年度のこれまでの教育活動を振り返りました。後半は、「『人や地域と関わるなかで子どもを育てていく』ためにできること」をテーマに熟議と呼ばれる話し合いをおこないました。

